



人とのつながりは「**地域のお宝**」で、お互い顔の見える関係から始まる支え合い活動です。サークル活動、趣味の仲間、ご近所さんとのおすそ分け、お茶飲み仲間などは、今後の人生を豊かに過ごすための鍵となります。

あなたの今のつながりを「**支え合い活動**」として意識してみてください。

取材先



生品保育園



と 田んぼの師匠



生品保育園では地域住民との協力により、園児のお米農家体験を行っています。主に田植え、稲刈り、もみすり。そして作ったお米はみんなでおいしくいただきます。作業は「田んぼの師匠」に教わります。青木紀美子さん（73）と紀美子さんの師匠（旦那さん）が毎年田んぼの一画を提供してくれています。



頑張るぞ～！の記念撮影（稲刈り時）



自身が元気でいられるために

青木さんは、職員として保育園に携わっていたこともあり、15年前くらいから今の体験行事を始めました。現在も家業である農仕事の他に、団体の役員や地域の踊りの先生でもあり、大忙しで暮らしています。「何かやってないと私ダメみたい！」と大変な中でも全てにやりがいを感じ、継続しています。周りから頼りにされ、いくつになっても毎日やるのがいっぱい。様々な世代の方とつながっています。年をとる暇が無いくらいに若々しく、つながり作りのお手本です。



田んぼの師匠
青木紀美子さん

地域住民と「つながり力」の育成

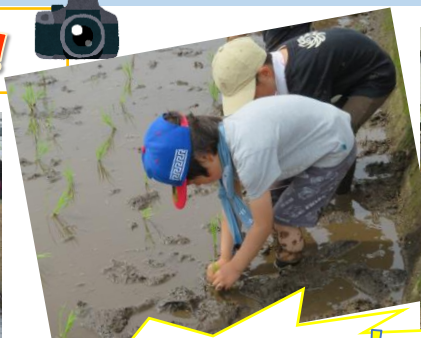
生品保育園の栗原志津恵園長は、「こうして体験できることは、食育にもつながりとても貴重です。これまでに色々な試行錯誤があって、地域の方や保護者に協力をいただいてここまで来れました。」とつながりのありがたさをお話いただきました。「困った時はお互い様！！」園児たちにもそうしたつながりの基盤ができるよう、園内での生活はもちろんのこと、園長や先生は保護者とも多くのつながりがある為、その力は家庭からも養われています。自然と助け合い、支え合える関係作りを実体験を通して育成しています。



栗原志津恵

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

シャッターチャンス！



たのしかった～！



すごえ～！



できた～！

どうしてつながりが大切なの？



現在の日本は超高齢社会です。最近では「人生100年時代」ともよく言われるようになりました。老後の心配はまだ早いと思いながらも、自分の今の生活の拠点（自宅）で、なるべくずっと**元気でいたい！！**と思う人は少なくないのではないかと思います。この先、年をとっていけば必ず自分だけではできないことが生じてきます。そんな時、助けを求められる存在があればどうでしょう。一人ではできないことも支え合えば解決できるかもしれません。実はその支え合いは、**日常の暮らしの中のつながり**が生み出します。ご近所さんとのおすそ分け、趣味の合う仲間や友人との交流、パパ友ママ友のお付き合いなど、これは一例にすぎませんが、世代を問わず、皆さんの暮らしの中にも多くの貴重なつながりがあり、**自然な支え合い**が行われているのです。つまり、皆様には「**お宝**」が存在しています。今、自身のつながりをちょっとした支え合い活動として考えてみると、大切な理由がわかってくるのではないのでしょうか。



太田市生活支援体制整備事業では、「（介護が必要となっても）住み慣れた地域で、自分らしい生活を人生の最後まで続けていくこと」を目的として、地域のお宝の発掘と啓発を行っています。

★あなたの地域のお宝情報を募集しています！

身の回りにお宝情報はございませんか？「私の近所ではこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけて合っている」など、あなたの地域のつながりを教えてください！情報をお持ちの方は右記お問い合わせまで！



詳しくはこちら

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229